

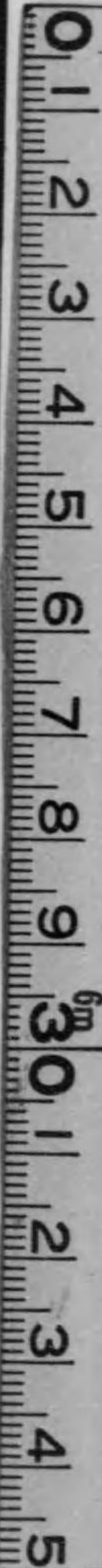
14.21

251

大正10年度業務功程報告書

島根県種畜場

国立国会図書館



始



14

25

大正  
十年  
度  
正  
業務  
功  
程  
報  
告  
書

島根縣種畜場

大正十一年農務局報告書目次

第一章 總說

第一項 主管事業

第二項 試驗事業

第三項 用地

第四項 收入支出

第五項 講習講話

第六項 出張

第七項 參觀人員

第八項 文書取扱件數

第九項 職員

第二章 家畜

第一項 畜牛

第一 本地繁養畜牛表

第二 本年度購入候補種牝牛

沿革 本場ハ明治四十年四月ノ創立ニシテ元  
 縣立農事試驗場ノ土地建築物ノ引繼ヲ受ケ  
 元畜産巡回教師附屬種畜飼養場ノ家畜建造  
 物並ニ縣立農林學校ノ鶏舎ヲ移轉シ事業ヲ  
 開始シ  
 位置 本場ハ八束郡乃木村大字羅富ニ在リ縣  
 廳ヲ距ル約一里松江市ノ南西尖置湖畔ニ瀕  
 シ縣立農林學校ニ隣接ス而シテ山陰線松江  
 驛及湯町驛ノ中間ニ位置ス



1424-257

大正十年度鳥根縣種畜場業務功程報告書目次

第一章 總說

第一項 主管事業

第二項 試驗事業

第三項 用地

第四項 收入支出

第五項 講習講話

第六項 出張

第七項 參觀

第八項 文書取扱件數

第九項 職員

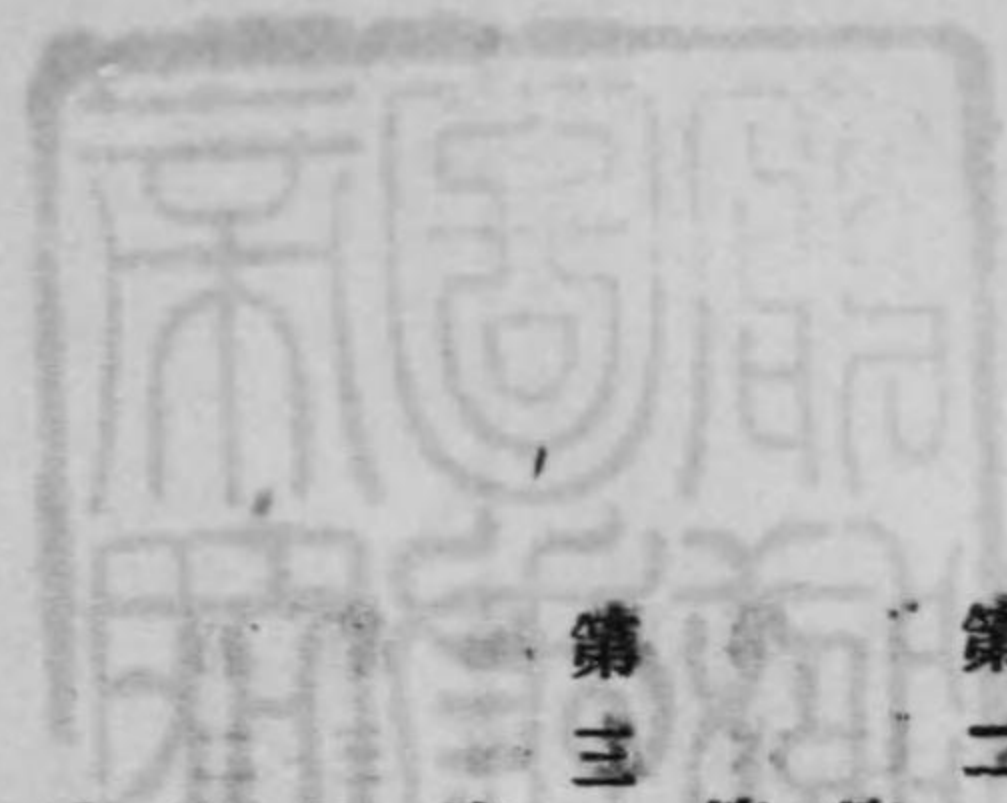
第二章 家畜

第一項 畜牛

第一 本場繁殖畜牛表

第二 本年度購入候補種牡牛

大正  
11. 8. 22  
内交



- 第三 本年度貸與種牛
- 第四 自大正九年一月貸與種牛成績  
至全 十二月
- 第五 貸與種牛現在表
- 第六 畜牛ノ異動
- 第七 畜牛ノ飼養管理
- 第二項 馬
  - 第一 本場繫養馬匹
  - 第二 馬匹飼科
- 第三項 養豚
  - 第一 種豚現在表
  - 第二 豚生產表
  - 第三 豚異動表
  - 第四 豚飼養法
- 第四項 家禽
  - 第一 家禽現在
  - 第二 家禽飼料
  - 第三 家禽產卵調
  - 第四 種禽卵拂下



第三章

衛生

第一項

患畜

三三

第二項

家畜病院

三三

第四章

圃場

第一項

作付反別

三四

第二項

栽培收草種類

三五

第一

芻草類

三五

第二

穀菽類

三五

第三

蔬菜類

三五

第三項

一般施肥

三五

第四項

栽培法

三六

第一

芻草栽培法

三六

第二

芻草收穫成績

三六

第三

穀菽類栽培法

三九

第四

蔬菜類栽培法

四二

第五項

收草種子配布

四四

第六項

生草埋藏

四四

第五章

試驗

驗

第一項 幼駒受託育成試驗

第一 委託試驗幼駒

第二項 鷄雜種試驗

第一 供用鷄

第二 供用鷄

第三項 豚肉加工試驗

四

四五

四六

四九

五一

五四

五六

五八

五九

六一

六二

六三

六四

六五

六六

六七

六八

六九

七〇

大正十年度業務功程報告書 (第十四回)

島根縣種畜場

第一章 總說

第一項 事業

第一、主管事業

種牛	種馬	種豚	種禽	種草栽培	種畜技術傳習生養成
全	全	全	全	全	全
配付	配付	配付	配付	配付	配付
種	種	種	種	種	種
付	付	付	付	付	付



第二、試驗事業

- 家畜飼養試驗
- 肉牛肥養試驗
- 乳牛ニ關スル試驗
- 豚肥養試驗
- 家禽飼養試驗



飼料ノ經濟的試驗

特異飼料試驗

家畜蕃殖試驗

家畜ノ改良上種類適否試驗

交又蕃殖試驗

牧草試驗

種類試驗

播種收穫試驗

牧野草貯藏試驗

種類ノ適否試驗

酪農製肉試驗

牛酪製造試驗

煉乳製造試驗

燻腿其他試驗

第二項 用地

一、用地面積

四町七反參畝貳拾七步參合

內 譯

大正建築敷地

貳反〇貳拾參步

種別	坪數	種別	坪數	種別	坪數
事務所	四坪	第三號厩舍	三坪	倉庫	一坪
第一號厩舍	三坪	堆肥(二階)舍	三坪	第一號厩舍	一坪
第二號厩舍	三坪	收獲舍	三坪	第二號厩舍	一坪
家畜飼料調理室	三坪	酪農舍及馬車置場	三坪	第一號厩舍	一坪
廊下	一坪	解卵器(附建)	一坪	製乳舍	一坪
釜場及小使室	一坪	育雛器	一坪	製肉舍	一坪
物置	一坪	第二號雞舍	一坪	製肉舍	一坪
便所	一坪	第一號雞舍	一坪	牧場計	一坪
第四號厩舍	三坪	第一號雞舍	一坪	牧場	一坪
		第一號雞舍	一坪	牧夫舍	一坪

第三項 建設物表

牧草及蔬菜地  
 周圍井手敷地  
 家畜家禽運動場  
 農林學校運動場  
 同 桑園  
 通路 其他  
 外家畜放牧場

貳町壹反七畝貳拾壹步七合(內借入地參反壹畝拾四步七合)  
 壹反四畝九步  
 參反五畝六步(內借入地五畝步)  
 六反步  
 五反參畝步  
 七反貳畝貳拾七步六合  
 參拾町步(借入地)

### 第四項 收入支出 決算表

種別	歲入		歲出	
	部	常	部	時
科	第十二款雜收入		第十一款勸業費	
目	第三項賠償及償却金		第七項種畜場費	
	第七項物品費拂代		第七項種畜場費	
	第一目賠償及償却金		第一項納金	
	第二目不用品費拂代		第一目納金	
	第三目生產物費拂代		第一目給給	
			第一目修繕費	
			第二目雜費	
			第二目建築費	
			第四項種畜場費	
			第五款勸業費	
大正十年度決算額	101,120	1,110	112,000	1,200

### 第五項 講習講話 第一、講習

區		區		區	
養	養	養	養	養	養
畜	畜	畜	畜	畜	畜
別	別	別	別	別	別
牛	豚	牛	豚	牛	豚
八	回	八	回	八	回
八	飯	八	飯	八	飯
部	日	部	日	部	日
能	數	能	數	能	數
一	一	一	一	一	一
部	回	部	回	部	回
能	數	能	數	能	數
一	一	一	一	一	一

### 第六項 出張

區		區		區	
養	養	養	養	養	養
畜	畜	畜	畜	畜	畜
別	別	別	別	別	別
牛	豚	牛	豚	牛	豚
八	回	八	回	八	回
八	飯	八	飯	八	飯
部	日	部	日	部	日
能	數	能	數	能	數
一	一	一	一	一	一
部	回	部	回	部	回
能	數	能	數	能	數
一	一	一	一	一	一

放牧	養牛	養雞	養鴨	養鵝	種畜	飼養	馬匹	放牧	牧場	貸下	養豚	共進會	產馬	產牛	貸下	拂下	博覽會	中國	畜牛	購入
實地	實地	組合	組合	組合	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理	管理
監督	監督	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導	指導
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六	七	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第七項 參觀人

區別	人員	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
人	員	五	二	一	六	八	〇	七	二	二	九	六	八	三

第八項 文書取扱件數

種別	件數	受	發	送	計
種別	件數	受	發	送	計
		一九三		一七五	三六八

第九項 職員

就職年月日	職名	氏名
大正六年十月八日	島根縣技師島根縣產業技師	長谷川 七
明治四十三年七月二十一日	島根縣立松江農林學校講師	門 亮
明治四十四年四月一日	島根縣立松江農林學校教諭	藤 原 三
大正八年三月三十一日	島根縣立松江農林學校教諭	長 谷 川 久 治 郎
全 九年十一月八日	島根縣立松江農林學校畜産技術教師	山 井 映 三
全 八年十月八日	島根縣立松江農林學校畜産技術教師	小 立 正 一
全 二年三月三十一日	島根縣立松江農林學校畜産技術教師	永 田 正 一
明治四十五年四月八日	島根縣立松江農林學校畜産技術教師	藤 原 儀 一

第二章 家畜

第一項 畜牛

縣下畜牛ノ改良増殖並ニ資質ノ向上ヲ計ラシメ大正三年以來縣内生産優良杜牘ノ購入ヲ爲シ合理育成ヲ行ヒ種杜適齡ニ及ヒテ縣下畜産組合ニ種杜牛トシテ貸與サナシツ、アリ本年度ニ於ケル實施要項左ノ如シ











全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第六、畜牛ノ異動

異動區分	種類	名	號	性	毛色	生	年	月	日	産	地	備	考
拂下	アゲオン種	斐伊		牡	黒	大正七年九月十日				大原郡斐伊村		大正十一年五月五日拂下	
拂下	アゲオン種	井尻		牝	黒	全八年二月廿日				能義郡井尻村		大正十年八月十五日種番	
拂下	アゲオン種	第五大正		牝	黒	全五年三月十七日				能義郡川本村		全十年九月四日無償下付	
拂下	アゲオン種	龜山		全	全	全四年十一月十四日				大原郡藤原村		全十年九月十九日拂下	
拂下	アゲオン種	第三濱田		全	全	全六年一月六日				能義郡藤原村		全十年十一月十二日拂下	
拂下	アゲオン種	第四山		全	全	全七年一月八日				那賀郡西隅村		全十年十二月九日那賀郡	
拂下	アゲオン種	第二コンスロマ		牝	黒	全三年四月十日				能義郡西隅村		畜産組合ニ貸付中無償下付	
拂下	アゲオン種	イーヤシヤ種		牝	白	全五年四月廿日				能義郡種番場		全十年二月十日無償下付	
拂下	アゲオン種	第四大平		全	黒	全八年三月五日				八東郡熊野村		全十一年一月四日能義郡	
拂下	アゲオン種	第二サウスオレンジ		全	黒	全三年八月廿六日				能義郡安田村		畜産組合ニ貸付中無償下付	

第七、畜牛ノ飼養管理 (1) 飼養法

飼料「ケルテル」氏飼料標準ニ基キ給與量ヲ定メ畜牛ノ個性營養狀態嗜好等ニ由リ適宜酌クテ加ヘ之ヲ定メ調理法ハ葉草青草等ノ如キハ一寸五分内外ニ裁切シ他ノ濃厚飼料ヲ混合柔飼トシ之ヲ朝晝夕ノ三回ニ分リ與ス給與時間八時季ニ依リ一時間内外ノ伸縮アルモ朝飼ハ午前六時半晝飼午前十一時半夕飼ハ午後五時

標準トス而シテ間食トシテ朝食後晝食後及夜飼トシテ夏季ハ青草冬期ハ乾草埋草ヲ投與セリ飼養區分ヲ凡ソ左ノ四期トナセリ

- 乾草期 三月 四月 五月(十五日迄) 十二月
- 放牧期 五月(十六日以後) 六月 七月
- 青草期 八月 九月 十月 十一月
- 埋草期 一月 二月

今各期ニ於ケル飼料給與例ヲ示セハ次ノ如シ

候補種牡牛 年 齡 九ヶ月 生 体 重 量 七 十 貫 目 乾草期飼料

飼料給與量	固形物全量	粗	蛋	白	質	炭	水	化	物	粗	脂	肪
大豆粉 三升	3000g	1000g	500g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g
小豆粉 三升	3000g	1000g	500g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g
米籾 三百五十匁	3500g	1000g	500g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g
切草 四百匁	4000g	1000g	500g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g
野乾草 一貫目	10000g	1000g	500g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g	100g
標計	110000g	10000g	5000g	1000g	1000g	1000g	1000g	1000g	1000g	1000g	1000g	1000g

候補種牡牛 年 齡 九ヶ月 生 体 重 量 七 十 貫 目 青草期飼料

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
小麥 二升 青牧草 八貫目 計 主百貫	26000 13000 11000 12000	11000 5000 11000 11000	11000 20000 10000 10000	1000 1000 1000 1000

三 例  
候補種牡牛 年九ヶ月 放牧期飼料  
生体重量 七十貫目

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
小麥 三升 大豆 三百五十匁 野生草 七貫目 切草 三百匁 計	11000 13000 10000 10000 12000	11000 11000 11000 11000 11000	10000 10000 10000 10000 10000	1000 1000 1000 1000 1000

四 例  
候補種牡牛 年九ヶ月 理草期飼料  
生体重量 七十貫目

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
大豆 二百匁 米 一百匁 切草 五百匁 理草 四貫目 計	12000 11000 11000 11000 12000	11000 11000 11000 11000 11000	10000 10000 10000 10000 10000	1000 1000 1000 1000 1000

五 例  
候補種牡牛 年十二ヶ月 乾草期飼料  
生体重量 八十貫目

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
大豆 一升 小麥 三升 米 三百五十匁 切草 一升五匁 乾草 五貫目 計	11000 11000 11000 11000 11000 12000	11000 11000 11000 11000 11000 11000	10000 10000 10000 10000 10000 10000	1000 1000 1000 1000 1000 1000

六 例

候補種牡牛 年十二ヶ月 青草期飼料  
生体重量 八十貫目

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
大豆 一升 小麥 三升 米 三百五十匁 切草 一升五匁 乾草 五貫目 計	11000 11000 11000 11000 11000 12000	11000 11000 11000 11000 11000 11000	10000 10000 10000 10000 10000 10000	1000 1000 1000 1000 1000 1000

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
小麥 三升五合	四九一.五七	二〇.〇〇	二六.一七	一.六六
大豆 三百五十匁	二九六.六六	一三.六六	一〇.一七	一.九六
野草 八貫匁	一三〇.〇〇	六.八〇	一五.一七	一〇.〇〇
切草 五百匁	四〇.〇〇	二.〇〇	一.六六	一.〇〇
標計	一,〇〇〇.〇〇	四二.四六	五三.一七	五.六二

七例 候補種牡牛 年 齡 十二ヶ月 生 体 重 量 八十貫匁 青 草 期 飼 料

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
大麥 八合	一八五.九三	一六.八六	一三.九三	一.九六
小麥 三升五合	四九一.五七	二〇.〇〇	二六.一七	一.六六
大豆 三百五十匁	二九六.六六	一三.六六	一〇.一七	一.九六
野草 八貫匁	一三〇.〇〇	六.八〇	一五.一七	一〇.〇〇
切草 五百匁	四〇.〇〇	二.〇〇	一.六六	一.〇〇
標計	一,〇〇〇.〇〇	四二.四六	五三.一七	五.六二

八例 候補種牡牛 年 齡 十二ヶ月 生 体 重 量 八十貫匁 埋 草 期 飼 料

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
埋草 四貫匁	六六.〇〇	三.〇〇	一.六六	一.〇〇
切草 五百匁	四〇.〇〇	二.〇〇	一.六六	一.〇〇
標計	一〇六.〇〇	五.〇〇	三.三二	二.〇〇

九例 候補種牡牛 年 齡 十五ヶ月 生 体 重 量 九十貫匁 乾 草 期 飼 料

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
大麥 一升	一〇七.〇〇	一〇.〇〇	一三.九三	一.九六
小麥 三升	四九一.五七	二〇.〇〇	二六.一七	一.六六
米糠 一升	一〇七.〇〇	一〇.〇〇	一三.九三	一.九六
野草 一貫匁	一〇七.〇〇	一〇.〇〇	一三.九三	一.九六
切草 六貫匁	六〇〇.〇〇	六〇.〇〇	七五.〇〇	四〇.〇〇
大豆 三百匁	二九六.六六	一三.六六	一〇.一七	一.九六
標計	一,〇〇〇.〇〇	一〇三.六六	一三三.一〇	六三.四六

十例 候補種牡牛 年 齡 十五ヶ月 生 体 重 量 九十貫匁 青 草 期 飼 料

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
小麥 三升	四九一.五七	二〇.〇〇	二六.一七	一.六六
大豆 三百匁	二九六.六六	一三.六六	一〇.一七	一.九六
標計	一,〇〇〇.〇〇	四二.四六	五三.一七	五.六二

標計	青牧草	八貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
標準			1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00

十一 例  
候補種牡牛 年 齡 十五ヶ月  
生 体 重 量 九十貫  
放牧期飼料

標計	小麥	三百五十升	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
標準	大豆	三百五十升	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	野生草	八百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	切草	三百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	標計		1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	標準		1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00

十二 例  
候補種牡牛 年 齡 十五ヶ月  
生 体 重 量 九十貫  
埋草期飼料

標計	大麥	一升五合	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
標準	小麥	二升五合	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	米	一升	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	大豆	二百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	埋草	五百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	標計		1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	標準		1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00

標計	切草	六百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
標準			1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00

十三 例  
候補種牡牛 年 齡 十八ヶ月  
生 体 重 量 百貫  
乾草期飼料

標計	大麥	一升五合	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
標準	小麥	三升	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	米	一百升	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	大豆	一百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	野乾草	一貫二百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	切草	六百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	標計		1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00
	標準		1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00	1,125.00

十四 例  
候補種牡牛 年 齡 十八ヶ月  
生 体 重 量 百貫  
青草期飼料

標計	青牧草	九貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
標準	小麥	三百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	切草	三百貫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	標計		1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	標準		1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00

標準	1100000	14000	1100000	8000
----	---------	-------	---------	------

十五例  
候補種牡牛 年齡十八ヶ月  
生体重量 百貫匁  
埋草期飼料

飼料給與量	固形物全量	粗蛋白質	炭水化合物	粗脂肪
大麥 1斗	11000	1100	1800	500
小麥 3斗	33000	3300	5400	1500
米 1斗	11000	1100	1800	500
埋草 5貫匁	50000	5000	8400	2300
切草 6百匁	60000	6000	10200	2800
野乾草 5百匁	50000	5000	8400	2300
計	110000	11000	18000	5000

(2) 管理

- 一、厩舎 厩舎ハ毎朝窓ヲ開放シ畜牛ヲ運動杭ニ繋キ臥藁ヲ厩外ニ出シテ汚染セシモノハ堆肥場ニ運ヒ然ラサルモノハ日光ニ乾燥セシメテ新臥藁ト共ニ敷料トナス而シテ柵板及隔壁ハ一週間一回宛洗濯シ清潔ナラシム
- 二、梳拭 厩舎外ニ於テ毎日一回刷毛鐵櫛布片ヲ用ヒ全身ヲ丁寧ニ梳拭スト雖モ雨天風雪ノ場合ハ厩舎内ニ於テ之ヲ行フ
- 三、水與 一日二回飼料給與后冷水ヲ畜牛ノ欲スル量ヲ攝取セシムルヲ常トス

- 四、運動 兩雪ノ日ヲ降キ運動場ニ於テ自田運動ヲナサシメ尙午后一回約三十分牽運動ヲナシ終リニ河入ヲ行ヘリ又時々削蹄ヲ行ヒ肢勢蹄形ノ矯正ニ努ム
- 五、放牧 候補種牡牛ハ五月二十七日ヨリ七月二十二日マデ本場設置ノ牧場ヘ放牧ヲナシ筋骨ノ發育ト肢蹄ノ堅牢ヲ圖レリ

第二項 馬 匹

第一、本場繋養馬匹

(身幹体重大正十年九月二十八日測定)

種	類名	體性	毛色	生年	月身	幹體	重産	地用	途
内國産洋種	盛	典	隔	栗	大正二年三月	五尺	二六	阪石郡吉田村	養用

第二、馬匹飼料

四季飼料

期	間	種別名	生年	月大	豆大	藁	乾草	藁	食鹽	生草
春季	成馬	盛典	大正三年三月	0斗	0斗	1斗	1斗	1斗	0斗	0斗
夏季	全盛	全典		0斗	0斗	1斗	1斗	1斗	0斗	0斗
秋季	全盛	全典		0斗	0斗	1斗	1斗	1斗	0斗	0斗

備考 盛典號大正十年九月二十八日拂下ゲタリ

第三項 養 豚

本場ハ縣下養豚ノ増殖並ニ種類ノ改良ヲ計ランカ爲メ純粹種豚ノ藩殖育成拂下ヲナシ養豚ノ發達ヲ期セムトス而シテ本縣ノ獎勵種類ハヨーキー種パーリー種ノーニトナス

第一、種豚現在表

(大正十一年三月末日現在)

種	名	性	産	地	生	年	月
ハイクシヤ	ハイメイト	牡	本場		大正六年十月		
全		全	東京府北多摩郡立川村		全十年五月		
全		全	千葉縣農商務省畜産試験場		全十年八月		
全		全	千葉縣末廣農場		全九年六月		
全		全	東京府北多摩郡立川村		全十年六月		
全		全	北海道畜産試験場支場		全十年十二月		
全		全	北海道畜産試験場支場		全八年三月		
全		全	東京府北多摩郡立川村		大正十年二月		
全		全			全九年十二月		
全		全	北海道畜産試験場支場		全十年三月二日		
全		全	千葉縣千葉郡一都村		全八年三月		
全		全			全七年五月		

第二、豚生産表

種	類	北	牡	計
ハイクシヤ	種			
ヨクシヤ	種			
ハイクシヤ	種			
ヨクシヤ	種			
計		三六二	三	三六五

第三、豚異動表

種	類	北	牡	計
ハイクシヤ	種			
ヨクシヤ	種			
ハイクシヤ	種			
ヨクシヤ	種			
計		一七五	八	一八三

備考 生産雜種牡豚ヲ去勢シ肥育試驗ノ上ハム製造ニ供シタリ

第四、豚飼養法

豚ノ飼料ハ可成の農家ノ副産物及一般家庭ノ殘滓ヲ以テ副業的飼養ニ近カラシメントス然レモ副産物ヲ得難キ場合ハ醬油粕ヲ主トシ裸麥糠大豆粕魚ノ粕ヲ用ヒ其他本場生産ノ生草根菜類等適配合給與セリ

(1) 飼料給與表

(一日一頭ニ給與シタル量)

種	別	醬油粕		大豆粕		米		魚ノ粕		青		草		根菜類	
		冬期	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期
仔	仔	0.100	0.100	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
妊	妊	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
成	成	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
附	附	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

備考 冬期ハ醬油粕麥糖ノ量ヲ減シ軍隊殘飯ヲ給與セリ

(2) 飼料ノ給與

飼料中濃厚飼料ハ水ニ混和シ粥狀ニ調理シ之ヲ三回ニ分配給與シ隔日本炭末及磷酸石灰ヲ混用ス

(3) 管理

豚舎ニ續シタル運動場ニテ運動セシム手入ハ隔日東糞又ハ刷ヲ以テ全身ヲ梳拭シ夏季天氣清朗ノ日ハ冷水  
ニテ全身ヲ洗滌ス豚舎ハ一日一回掃除ヲナシ褥藁ハ除去シ新鮮ナルモノト交換ス又ハ仔豚附ノモノニアリ  
テハ褥藁ハ五寸ノ長サコ切り敷料トナス而シテ夏期ハ仔附豚ノ外褥藁ヲ給セス

第四項 家禽

本場ニ於テハ農家副業的養鶏事業ノ普及發達ヲ期センガ爲メ各種ノ種禽ヲ飼養シ飼養上ニ於ケル各種ノ試  
験並ニ養鶏經濟ノ規範ヲ示サンガ爲メ明治四十一年以降各種種雛ノ孵化育成優良卵ノ生産ヲ行ヒ縣下郡村  
農會其他團休個人ノ要求ニ應ジ適當ノ配布拂下ヲ實施シ其普及繁殖ヲ計ラントス本年度ニ於ケル實施事項  
次ノ如シ

第一、家禽現在

(大正十一年三月三十一日現在)

區分	種類	雄		雌		計
		年三	年四	年二	年三	
全	白色レグホーン種	—	—	—	—	—
全	褐色レグホーン種	—	—	—	—	—
全	黒色レグホーン種	—	—	—	—	—
全	黒ミノルカ種	—	—	—	—	—
全	ナゴヤコーチン種	—	—	—	—	—
全	横濱プリマス種	—	—	—	—	—
全	ナゴヤコーチン種	—	—	—	—	—
全	ドレッドアイ種	—	—	—	—	—
全	黒色レグホーン種	—	—	—	—	—
全	九斤一代種	—	—	—	—	—
全	白色レグホーン種	—	—	—	—	—
全	ナゴヤコーチン種	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—

品目	全代種		水禽		全計	
	青銅色吐綾鶉	ハキソダツク鶉	白鶉	鶉	計	計
朝	—	—	—	—	—	—
晝	—	—	—	—	—	—
夕	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—
單價	—	—	—	—	—	—
總額	—	—	—	—	—	—

第二、家禽飼料  
一、成禽及雛飼料  
(イ) 成禽飼料一例  
(百羽ニ對スル一日分)

品目	米		大豆		其他		計
	上等	下等	升	升	升	升	
朝	—	—	—	—	—	—	—
晝	—	—	—	—	—	—	—
夕	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—
單價	—	—	—	—	—	—	—
總額	—	—	—	—	—	—	—

(ロ) 鶯  
平均一羽ニ對スル一日分飼料

品目	米		大豆		其他		計
	上等	下等	升	升	升	升	
朝	—	—	—	—	—	—	—
晝	—	—	—	—	—	—	—
夕	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—
單價	—	—	—	—	—	—	—
總額	—	—	—	—	—	—	—

以上外各種共ニ毎日動物飼料トシテ、魚屑又ハ肉粉骨粉等ヲ與ヘ蔬菜ヲ切切シ給與ス其他具殼粉木炭末小砂ヲ鶏舎ノ一隅ニ備ヘ自由ニ啄マシム  
本表水禽及吐綬鶏ハ主トシテ放飼スルヲ以テ比較的少量ノ飼料ヲ要セリト雖ヒ鶏ハ悉ク種禽供用種飼ナ  
ルヲ以テ比較的多数ノ飼料ヲ要セリ

育雛飼料ハ左ノ如シ

(ハ) 雛飼料

第一期 (孵化后十日間) 給與飼料

水ニ浸シ一日數回給與

細挫シテ一日數回給與

粟 菜

右ノ外木炭粉貝殼粉骨粉ヲ自由ニ採食セシム

第二期 (孵化后十一日目ヨリ 三十日ニ至ル) 雛十羽一日給與飼料

小麥	貳升
大麥	壹升
枇	六合
穀	貳升
米糠	四升
餅粕粉	貳百匁

以上各種飼料ヲ一日數回給餌器ニ盛リ自由ニ採食セシム而シテ蔬菜木炭粉貝殼粉ハ第一期飼料ニ同シ

第三期 (孵化一ヶ月后ノ中雛二十日間) 十羽ニ對スル一日給與飼料

小麥	二升四合
大麥	一升二合
枇(上等)	一升
穀	二升四合
米糖	五升
餅粕	貳百四拾匁

以上第二期飼料ト同一ノ方法ニ依リ自由ニ採食セシム蔬菜木炭粉貝殼粉亦同シ

第三、家禽産卵調

一、産卵數量

種	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
白色レグホーン種	一九	二二	一八	一五	一九	一〇	一〇	二二	二二	一八	一六	一七	一九
褐色レグホーン種	二〇	二七	一六	一五	一六	九	四	五	二	二九	一一	一五	二五
黒色レグホーン種	一八	二二	一六	一五	一六	九	四	五	二	二九	一一	一五	二五
黒色レグホーン種	一八	二二	一六	一五	一六	九	四	五	二	二九	一一	一五	二五
横班ブリマス、ロツ	一四	一〇	一四	一〇	一六	二	五	四	二	一四	一五	一六	一七
ナゴヤ、コーラン	一五	一〇	一四	一〇	一六	二	五	四	二	一四	一五	一六	一七
フロイト、イルラン	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
吐種	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
ベキ、メツ	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇



前表ハ本場ニ飼養セル各種各年鶏ヲ通セル一羽平均一ケ年ノ産卵顆數ナリ優等ノ卵用種鶏ニシテ平均産卵數ノ稍少キノ感アルハ産卵力ノ缺乏セル四年鶏ヲ多數ニ混セルニ因ル實用養鶏業ニ於テハ四五年鶏ヲ飼養スルハ大ニ不利益トスル處ナリト雖モ本場ノ如キ種禽ヲ目的トスル處ニ在リテハ優良系種ハ老鶏ニ至ル迄灌殖用ニ供スルガ故ニ本場表ノ成績ヲ呈セルナリ

二、産卵重量

養鶏事業ノ主ナル收益ハ卵ニアリ卵重量ノ輕重ハ其收利ニ大ナル關係ヲ有ス本場種禽各種ノ産卵重量左ノ如シ

種	類	初卵重量	産卵後一ケ月		年重	鶏
			一	二		
白色	レタホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
白色	レクホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
褐色	レクホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
褐色	レタホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
黒色	レタホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
黒色	レクホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
横班	アリマス種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
黒色	アリマス種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
ナコヤ	コーチン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
ドレト	アトルラン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
黒色	レタホーン九	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
斤一代	種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
白色	レタホーン種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
ゴヤ	一代種	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
青銅色	吐綫鶏	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
ヘキン	ダツク	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
白	電	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5

第四種 禽卵拂下

種	別	入東	能義	仁多	大原	飯石	藤川	安濃	麗摩	邑智	那賀	美濃	鹿足	隱岐	縣外	計
種	別	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	別	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種

二、拂下種別表

種	別	白色レタホーン種	褐色レタホーン種	黒色レタホーン種	黒色レクホーン種	黒色レタホーン種	黒色レクホーン種	ナコヤコーチン種	横班アリマス種	吐綫鶏	ヘキンダツク	計
種	別	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	別	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種

第三章 衛生

第一項 患畜

厩舎及個体ノ衛生ニ注意セルヲ以テ健康状態ハ一般ニ良好ナルヲ得タリト雖モ尙不幸ニシテ左ノ患畜ヲ生シ就中井尻號ハ遂ニ斃死セシハ最モ遺憾トスル所ナリ

區	分	種	類名	性別	病名	發病月日	轉歸	備
養補種	牛	全	改良和種	牛	腎臟移	八月六日	八月十五日斃死	六月五日産後經過シク極力治療ヲ加ヘシモ續發病ヲ生スルニ至レリ
			産石	牛	慢性胃腸加答兒	七月十六日	八月二十日全治	放牧中發病セリ

第二項 家畜病院

種別	種	類	性	年	齡	診	療	年	月	日	病	名	處	置	轉	歸	畜主住所
牛	和	種	牝	六	歲	大正十年四月十日	難	產			慢性胃腸加答兒	救	內服	助	全	治	八東郡乃木村
馬	全	種	牝	五	歲	全十年七月廿九日	慢性胃腸加答兒	產			力	內服	助	全	治	八東郡來待村	
全	全	種	牝	二	歲	全十年八月二十八日	急性胃腸加答兒	症			症	內服	快	全	治	八東郡佐太村	
全	全	種	牝	三	歲	全十年九月十二日	急性胃腸加答兒	症			症	內服	快	全	治	八東郡佐太村	
全	全	種	牝	五	歲	全十年九月十九日	急性胃腸加答兒	症			症	內服	快	全	治	八東郡佐太村	
全	全	種	牝	四	歲	全十年十一月十二日	急性胃腸加答兒	症			症	內服	快	全	治	八東郡佐太村	
全	全	種	牝	四	歲	全十年十二月十六日	急性胃腸加答兒	症			症	內服	快	全	治	八東郡佐太村	

第四章 圃場

第一項 作付反別

畑地番號	區	分	反	別
第一號地	南	區	壹反五畝廿二步	
第二號地	南	區	參反九畝拾八步	
第三號地	北	區	壹反六畝五步	
第四號地	北	區	壹反壹畝三歩	
第五號地	北	區	壹反參畝貳拾貳歩	
第六號地	南	區	八畝貳拾九歩	
第七號地	北	區	壹反參畝貳拾貳歩	
第八號地	南	區	八畝二十九歩	
第九號地	北	區	壹反五畝拾參歩	
第十號地	北	區	壹反參歩	
第十一號地	北	區	壹反壹畝拾八歩	
第十二號地	北	區	六畝拾八歩	
第十三號地	北	區	五畝拾八歩	
第十四號地	北	區	參反壹畝拾四歩七合	
第十五號地	北	區	貳町壹反七畝貳拾壹歩七合	

第二項 栽培牧草種類

第一、芻草類

一、禾本 オートチャートグラス、トールオートグラス、チモセーグラス、スフィートセンタットパーナルグラス

二、萱草 レットクロヴァー、アルサイクログヴァー、スフィートクロハ、ルーサン、白萩

第二、穀類

燕麥 玉蜀黍 大豆 大麥

第三、蔬菜類

大豆 胡蘿蔔 甘藍 大芥菜 燕菁

第三項 一般施肥

厩肥ヲ基本トシ過磷酸石灰草木灰種油粕人糞尿餅粕ヲ施用ス施肥量ハ作物ノ種類收穫ノ目的土質等ニ依リ一定セスト雖モ概シテ壹反歩ニ對シ厩肥五百貫乃至八百貫勿過磷酸石灰四貫乃至七貫又種油粕六貫勿餅粕五貫勿等ナリトス畜舎ニリ生ズル厩肥ヲ堆積シタルモノニ數回切返シテ行ヒ其腐熟セルモノヲ用フ過燐

酸石灰及種油粕ハ他ヨリ購入ス牧草地施肥ノ方法ハ冬期積雪前或ハ農閑ノ際熟肥ヲ圃場ニ散布追肥シ又一回(春期)刈取及第三回(晩秋)刈取后堆肥ヲ散布施肥シ初春水肥(尿腐熟セルモノ)ヲ施用セリ

### 第四項 栽培法

#### 第一、芻草栽培法

##### 一、一般禾本科牧草

### (一) 耕種法

整地 畑ハ可成の深耕シ能ク土塊ヲ粉碎整地シ作切リヲ深クシテ厩肥ヲ充分ニ鋤キ込ミ土ヲ覆ヒ更ニ土地ヲ平均ナラシム

肥料 元肥トシテ腐熟セル厩肥五百貫匁乃至八百貫匁燐酸肥料三貫匁乃至六貫匁(壹反步當)追肥トシテ稀薄牛馬尿百五十拾貫匁ヲ施用ス

播種期 秋期十月上旬春期四月中

播種法 條播トシ播種ヲ終レバ覆土又ハ藁灰ヲ撒布シテ覆土ニ代ヘ尙腐熟セル厩肥ヲ薄ク覆フ之レ粘土質土壤ノ覆土厚ケレバ發芽不良ナルコトモル

播種後ノ管理 翌春二、三回除草ヲ兼テ中耕ヲ行ヒ稀薄牛馬尿ヲ施用セリ

##### 二、一般荳科牧草

### (一) 耕種法

整地 牛耕ニテ土地ヲ縱横ニ耕起再耙シテ土壤ヲ微碎膨軟ナラシメ能ク平均ニ整地シ幅二尺畦ヲ作り之ニ播種セリ

肥料 元肥トシテ壹反步藁灰二十貫匁厩肥三百貫匁追肥トシテ藁灰二十貫匁厩肥二百貫匁

播種期 四月上旬又ハ十月上旬

播種量 壹反步當五斤乃至七斤

播種法 條撒播ニシテ播種后細分セル熟肥ヲ撒布シテ覆土ヲ爲ス

播種后ノ管理 播種后一、二回除草ヲ行ヒ追肥ハ除草后直ニ施用シ嫩芽ノ保護伸長ニカム

##### 三、混播牧草

### (一) 耕種法

整地 牛耕ニテ土地ヲ耕起數回鋤返ヘシテ行ヒ厩肥ヲ鋤込ミ后チ人耕ヲ以テ土塊ヲ粉碎整地シ幅六尺ノ畦ヲ作ル

肥料 元肥過燐酸石灰七貫匁厩肥六百貫匁追肥稀薄牛馬尿又ハ人糞尿五十貫匁(但壹反步當ノ施肥量)

播種期 十月上旬

播種量 壹反步當八斤乃至十斤各種混合種子重量)

播種后ノ管理 翌春二、三月ノ初ニ於テ稀薄牛馬尿ヲ施用シ毎秋期一回腐熟セル厩肥ヲ粉碎撒布シ追肥スル外中耕除草ヲ行ハズ

### (二) 混播牧草種別

混播牧草ノ種類及混合割合

混播牧草種別名 (甲)	壹反步ニ對スル混合種子量	混播牧草種別名 (乙)	壹反步ニ對スル混合種子量
-------------	--------------	-------------	--------------

混播牧草種類名 (丙)	一反歩ニ對スル混合種子量	混播牧草種類名	一反歩ニ對スル混合種子量
オイチヤートグラス チモシーグラス メドフオツタステール メドフエスキュー スウキトセントツトパーナルグラス レツドクログア アルサイクログア トールオートグラス	百八十 百八十 百八十 百二十 九十四 八十四 三十六 六	スウキトセントツトパーナルグラス タレステツドツタステール パレニアアラライグラス メドフオツタステール クリーヒレタペントグラス オイチヤートグラス レツドクログア メドフエスキュー チモシーグラス トールオートグラス	五十 全 全 全 全 全 二百四十 二百四十 百二十 百二十

第二、芻草收穫成績

番地	種	類	播種年月	一回刈收量	二回刈收量	三回刈收量	四回刈收量	一反歩當生草收穫量
二	トールオートグラス	類	大正四年十月	1110	800	110	110	1110
二	オイチヤードグラス	類	大正四年十月	1110	800	110	110	1110
三	オイチヤードグラス	類	大正六年十月	1100	800	110	110	1100

番地	種	類	播種年月	一回刈收量	二回刈收量	三回刈收量	四回刈收量	一反歩當生草收穫量
四	混播牧草	類	明治四十四年十月	1110	800	110	110	1110
五	トールオートグラス	類	大正四年十二月	1110	800	110	110	1110
六	ホワイトクロハ	類	全	1110	800	110	110	1110
七	レツドクログア	類	全	1110	800	110	110	1110
七	混播牧草	類	全四年十月	1110	800	110	110	1110
七	オイチヤートグラス	類	全	1110	800	110	110	1110
七	オイチヤートグラス	類	全	1110	800	110	110	1110
九	トールオートグラス	類	全	1110	800	110	110	1110
一〇	混播牧草	類	全七年十月	1110	800	110	110	1110
一〇	ルサン	類	全	1110	800	110	110	1110
一〇	混播牧草	類	自然發生	1110	800	110	110	1110

本表中路傍牧草ハ路側ニ牧草種子ヲ撒布シ自然ノ生育ニ任セルモノニテ路側ニ於ケル牧草ノ生育ト其收穫量ノ如何ヲ試験調査シタルモノナリ本成績ニ據ルハ道路長サ約五町ノ兩側ニ牧草ヲ自然發生セシムルモ一ヶ年三回刈取コテ大正七年ハ二千百貫匁大正八年ハ千九百八拾貫匁大正九年ハ千七百五拾貫匁大正十年ハ千六百五拾貫匁收穫スルヲ得タリ千貫匁ニ付金拾五圓トスルモ五町ノ路傍ヨリ一ヶ年間二十四圓余トナリ壹町ノ路傍ヨリ金四圓八拾匁ノ良草ヲ得ヘシ

第三、穀類栽培法

一、燕 麥

(一) 耕種法

整地 耕起后土壤ヲ碎キ平均整地ノ作切ヲ深クシテ厩肥ヲ埋メ過燐酸石灰ヲ加用シテ播種ヲナシ  
 肥料 覆土ヲ行フ  
 壹反歩ニ對スル施肥量左ノ如シ

堆肥	馬糞	石灰	元	道	肥
牛糞	馬糞	石灰			
100	100	100			

畦幅 二尺

播種期 自十月土旬至十一月中旬

播種量 壹反歩當八升

播種法 條撒播

中耕及除草 翌年三月初旬除草ヲ兼テ中耕ヲ行フ

(二) 青刈燕麥收穫成績

區別	種別	類	收穫	期	壹反歩生草收穫
六ヶ年	平均	パーヒースウエルカム	五	月	下旬
七ヶ年	平均	ナイヤガラオーツ	全		
六ヶ年	平均	リースホース	全		
九ヶ年	平均	改良種	全		

以上ノ成績ニ據レハ青刈用トシテハ改良種最モ多收穫ナリトス

二、大豆

(一) 耕種法

整地 前作青刈燕麥刈取后牛耕ニテ二回耕起シテ作切シテ整地ス

播種期 自五月中旬至六月上旬

播種 播種后過磷酸石灰及熟肥ヲ撒布シ薄ク覆土ス採種用大豆ハ点播トス

肥料 過磷酸石灰七貫匁厩肥四百貫匁(壹反歩當)

(二) 生育狀況 各種五月中ニ播種セルモノハ生育良好ニシテ莖葉共ニ肥大シ六月中殊ニ下旬ニ播種セルモノハ生育充分ナラス

(三) 青刈大豆收穫成績

區別	種別	類	一反歩生草收穫	全上乾草量	生草十貫ニ對スル干草量歩合
七ヶ年	平均	早熟三島	七四〇	一六五	二二五
九ヶ年	平均	晚熟三島	八五〇	三三〇	三九〇
四ヶ年	平均	青森大豆	六三〇	一四〇	二二五

三、玉蜀黍

(一) 耕種法

整地 春期燕麥及春蔬菜ノ間作トス

肥料 一反歩ニ對シテ煉搾粕六貫匁過磷酸石灰七貫匁ニ厩肥三百貫匁

播種期 五月上旬

播種法 点播株間距離一尺

播種後ノ管理 六月中旬人糞尿ヲ追肥シ隨時除草ヲ行ヒ全月下旬土寄ヲナス

(二) 收穫成績

種	類	收穫期	壹反歩當實收量	全	上葉實量	子實一升ノ重量	品	位	壟	長
ホワイトサントコーン	八月下旬	1000	1000	1000	1000	1000	中	位	壟	長

在來種前五ヶ年ノ平均收穫量左ノ如シ

種	類	一反歩當實收量	全上葉實量	子實一升ノ重量	品	位	壟	長
八束在來種	11.00	200	200	200	上	位	壟	長

第四、蔬菜類栽培法  
栽培種類及收穫量

種	類	收穫期	壹反歩當實收量
官重	大根	十二月中旬	1100
無重	大根	七月中旬	1100
時無	大根	十二月下旬	1100
方領	大根	十二月下旬	1100
練馬	大根	十二月下旬	1100

(一) 耕種法

整地 人耕コテ耕鋤整地ノ作切リテ人糞尿及過燐酸石灰ヲ播種前ニ施シ能リ土ト混和セシメテ其上ニ種子ヲ蒔キ腐熟セル厩肥ヲ覆ヒ薄ク覆土セリ但大芥菜ハ苗ノ移植ヲ行フ

肥料 人糞尿三百貫匁厩肥三百貫匁過燐酸石灰六貫匁ヲ加用ス

播種期 春播ハ四月中旬秋播ハ九月中旬

播種后ノ管理 大根ト畧同様ナリ時ニ害蟲驅除ヲ行ヘリ但大芥菜ハ其葉ヲ時々收穫スルヲ以テ比較的多ク肥料ヲ要ス

(二) 收穫成績

種	類	收穫期	壹反歩當實收量
大芥	菜	五月中旬	1100
白芥	菜	十二月中旬	1100
休菜	菜	十二月下旬	1100

(一) 耕種法

苗床 九月下旬人耕ニテ耕起整地シ幅三尺ノ畦ヲ造リ之ニ播種セリ

移植 第一回移植ハ十二月中旬之レヲ行フ 人耕ニテ深鋤シ後ナ細紀シテ土塊ヲ碎キ平坦ニ整地ス而シテ左ノ距離ニ畦切リヲナシテ最モ深ク溝ヲ設ケ腐熟セル厩肥ヲ敷キ入レ一旦覆土ヲナシ人糞尿ト葉灰トヲ加用シ土ト混和セシメ後ナ苗ヲ植フ畦幅二尺二寸株間一尺五寸

移植后ノ手入 生育狀況ヲ見計ヒ時々水肥ヲ與ヘ又ハ下葉撈キヲ行ヒ除草ヲナシ最モ害蟲ノ發生ニ注意シ驅除ヲ行フ

肥料ノ種類用法左ノ如シ

肥料	種類	用法	量	一元	肥	追	肥
----	----	----	---	----	---	---	---

糞 人糞 過糞 糞	石 炭	100 100 100 100	100 100 100 100
--------------------	--------	--------------------------	--------------------------

(二) 收穫成績

種別	收穫期	反歩	當收	收穫量	結球セル歩合
中生甘藷	七月下旬	1.50	1.50	1.50	九歩

第五項 牧草種子配布

本年度内牧草種子ノ配布拂下ヲ實施セル主ナルモノ次ノ如シ

オーチャートラス	三	斤	三	個	所
ホワイトクローバ	一	斤	二	個	所
レットクローバ	一	斤	二	個	所
燕麥	五	斤	二	個	所

第六項 生草埋藏

畜牛冬期ニ於ケル基本飼料トシテエンシレーワハ最も經濟的飼料ナリトス故ニ本場ニ於テハ數年前ヨリ貯藏試驗ヲ實施シ既ニ良果ヲ收メタリ大正四年度ニ於テハ更ニ草質其他ノ事情ヲ異ニセル縣下各郡ニ生草埋藏試驗ヲ委託實施シタルニ其成績良好ニシテ今ヤ縣下到ル處此レガ設置ヲ爲セントスルモノ多キニ至レリ本年度當場ニ於ケル成績ハ次ノ如シ

一、生草貯藏(エンシレーワ)成績

番號	種別	生草埋藏量	上等エンシレー	當收シタルモノ	貯藏量ニ對スルエンシレー割合
第一番	混播牧草	200	120	200	60%
第二番	混播牧草	200	120	200	60%
第三番	混播牧草	200	120	200	60%
第四番	混播牧草	200	120	200	60%
計		800	480	800	60%

二、エンシレーワ開窖ノ狀況

本年度貯草セル各種ノエンシレーワノ狀況次ノ如シ  
 第二窖 本窖貯草ハ大正十年五月九日ニ第一回ヲ續テ五月十二日五月十七日ノ數回ニ貯藏ヲ爲シ大正十一年一月十一日開窖採出セリ  
 第三窖 本窖ノ貯草大正十年五月十日第一回ヲ續テ五月十二日五月十七日ノ數回ニ貯藏ヲ爲シ其種類及埋草量ハ混播牧草四百貫匁オーチャートグラストールオートグラス三百貫匁計六百貫匁ニシテ大正十一年一月二十五日開窖セルニ品質頗ル良好ナリシ  
 第四窖 本窖ノ貯草ハ大正十年五月十一日第一回ヲ續テ五月十七日十八日ノ數回誥込ミテ行ヒタリ其種類混播牧草レットクローバオーチャートグラス貯草量ハ六百五拾貫匁ニシテ開窖ハ大正十一年二月二十日ヨリ採出シタルニ香氣可良ニシテ家畜ノ嗜好ニ適セリ

第五章 試驗

第一項 幼駒受托育成試驗

本場ハ優良ナル幼駒ノ委託ヲ受ケ常ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ學理ヲ基礎トシ實地ニ鑑ミ育成上ニ最善ノ方法

チ講レ以テ基礎種畜トナスヲ目的トス  
 本場ハ馬匹ニ適當ナル放牧地ナキヲ以テ夏期ノ委託ヲ受ケサル方針ナルモ特別馬ニ對シテハ委託ヲ行フモ  
 ノトス

第一、委託試驗幼駒

種名	類名	性別	生年月日	血統	産地	飼養期間
アンクロナルマン種	十勝	牝	大正八年四月	父アノ、アルマン 母アノ、アルマン	仁多郡八川村	自大正十年八月一日 至大正十年九月十四日
内國産洋種	曉	全	全九年五月	父内洋岩藤 母内洋岩藤	全	自大正十年四月一日 至大正十年九月二十一日
ギドラン種	竹	牝	全八年五月	父ギドラン種 母アノ種	八東郡波入村	自大正十年五月二十七日 至大正十年十二月一日
種	波	牝	全十年五月	父内洋種 母内洋種	知夫郡黒木村	自大正十年三月三十一日

一、飼養法

飼料品種給與量其方法等ハ個体ノ營養稟質運動時季等ニ依リテ多少ノ差異アリト雖モ本年度飼養シタル標準量ヲ掲クレバ左ノ如シ

給與シタル一頭一日ノ飼料

品名	種期	馬名	十勝	曉	竹	波	銀	勝
大	自四月十一日	十勝	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
較	至七月三十一日	十勝	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
切	自四月十一日	曉	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
干	至七月三十一日	曉	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
青	自四月十一日	竹	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
食	至七月三十一日	竹	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	自四月十一日	波	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	至七月三十一日	波	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	自四月十一日	銀	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	至七月三十一日	銀	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50

品名	種期	馬名	十勝	曉	竹	波	銀	勝
大	自八月二十一日	十勝	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
較	至九月十一日	十勝	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
切	自八月二十一日	曉	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
干	至九月十一日	曉	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
青	自八月二十一日	竹	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
食	至九月十一日	竹	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	自八月二十一日	波	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	至九月十一日	波	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	自八月二十一日	銀	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
藁	至九月十一日	銀	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50

二、飼料ノ給與法

一日三回ニ分配シ大麥ハ壓搾トナシ他ノ濃厚飼料ト共ニ切乾草藁ト混和シ食塩ヲ加味シテ給與ス其給與時間左ノ如シ

午前六時  
 午前十一時  
 午後九時(冬期ハ乾草夏期青草ヲ投與ス)  
 午後五時

三、水

每飼料給與前冷水ヲ馬匹ノ欲スル量ヲ攝取セシム

四、管理法

幼駒育成用馬房ハ特ニ土間ヲ用ヒ肢蹄ニ對スル檻盤ノ反動ヲ緩和シ運動ハ運動場ニ於テ自由運動ヲナサシ



ムルモ個体ニ依リ特ニ牽運動又ハ輕乘運動ヲナシムルコトアリ  
 手入ハ毎日一回所定ノ梳拭ヲ行ヒ運動後手入ハ其都度之レヲ行フノ外時々河川ニ牽出シ脚浴ヲ行フモノト  
 ス

馬房内ハ毎日一回掃除ヲナシ褥藁ハ汚染ミタル部分ヲ除去シ新鮮ナルモノヲ補充ス護蹄ニ就テハ特ニ注意  
 ナカシ脚浴ノ際洗除シテ清潔ナラシムルト勿論朝夕二回蹄油ヲ塗付シ蹄質ヲ保護シ時々削蹄ヲ行ヒテ變形  
 ナカラシムルコトニ努ム

五、發育表

測定月日	竹波			十勝			幌			銀		
	体重	体尺	胸圍	体重	体尺	胸圍	体重	体尺	胸圍	体重	体尺	胸圍
四月十五日	一一六	一一七	五〇五	八八	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
四月三十日	一一七	一一七	五〇五	八九	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
五月十五日	一一八	一一八	五〇五	九〇	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
五月三十日				九一	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
六月十五日				九二	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
六月三十日				九三	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
七月十五日				九四	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
七月三十日				九五	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
八月十五日				九六	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
八月三十日				九七	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
九月十五日				九八	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
九月三十日				九九	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
十月十五日				一〇〇	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
十月三十日				一〇一	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
十一月十日				一〇二	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
十一月二十日				一〇三	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
十二月十日				一〇四	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
十二月二十日				一〇五	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			
大正十一年一月十日				一〇六	四九〇	六一	五二	四〇〇	四八			

測定月日	竹波	十勝	幌	銀
一月三十日				
二月十五日				
二月二十八日				
三月十五日				
三月三十一日				

第二項 鶏雜種試驗

本縣ニ於ケル鶏種中最モ多數飼養セラル、種類ハ卵肉兼用種ノ九斤ニシテ該種ハ性温順ニシテ強健能ク本  
 縣ノ氣候風土ニ適シ農家副業的養鶏ニハ常ニ愛用セラル、在來鶏種ナリト雖モ該種ハ頗ル晩熟ニシテ産卵  
 期遅ク且ツ産卵數寡少ニシテ一ケ年漸ク百個内外ナルヲ遺憾トス本種ヲ改良シテ産卵増加ヲ見ゾカ本縣ニ  
 於ケル鶏卵ノ生産額ハ從來ニ比シ數割ノ增收ヲ見ルニ至ルヘシ故ニ該種ニ多産鶏種ノ血液ヲ雜ヘ本種ノ特  
 色タル温順ト強健ナル體質ニ併セ能力ヲ増進シ最モ有利ナル實用鶏ヲ得ゾカ爲メ曩ニ黑色ミノルカ種ヲ交  
 配シ其果ヲ得タリト雖モ更ニ進ンデ他種ノ優良種ヲ交配シテ實用上ニ於ケル能力ノ適否ヲ試験シ併セテ前  
 試験黑色ミノルカ一代雜種ニ比較對照ヲ試ミントス以上ノ目的ヲ遂行センガ爲メ左ノ鶏種ニ依リ試験ヲ行  
 ヘリ

第一、供用鶏

黑色レグホーン種雄ヲ九斤種雌ニ交配シタル黑色レグホーン九斤一代雜種雌四羽

本雜種鶏ノ形状羽毛並ニ性質等左ノ如シ

黑色レグホーン九斤一代雜種鶏  
 嘴 帶黑黃色

顔面 鮮紅色  
 脛及趾 脛ハ暗黒色趾ハ帶黃色  
 頸 黒色ニシテ黃褐羽ヲ雜ヘ頭部ニ至ルニ後ヒ漸次黃色トナル  
 背 暗黒色  
 胸 黒色ニシテ羽ノ中央根部ニ莖線アリ  
 体軀及軟羽 暗黒色  
 尾 暗黒色  
 眼 黒色  
 肉髯及耳朵 肉髯ハ紅色耳朵ハ帶赤白色  
 性 稍々温和

本鶏ハ大正八年六月二十七日ノ孵化ニシテ其初産卵ノ月日及孵化后産卵迄ノ日數左ノ如シ  
 初産卵月日 大正九年一月二十日  
 孵化ヨリ初産ニ至ル日數 百七十七日  
 一代雜種ノ産卵調 (初産ヨリ大正十一年三月三十一日ニ至ル)

期	間	一	羽	平	均	産	卵	數
自初産大正九年一月二十日至大正九年三月三十一日								
自大正九年四月至全十年三月三十一日								
自大正十年四月一日至十一年三月三十一日								

黒色レグホーン、九斤一代雜種ハ初産大正九年一月二十日ヨリ同年三月三十一日迄テハ平均六割五歩強大

正九年四月一日ヨリ同十年三月三十一日迄テハ五割大正十年四月一日ヨリ同十一年三月三十一日迄ハ三割七歩ノ割合ヲ以テ産卵レタル譯ナリ

第二、供用鶏

白色レグホーン種雄ヲ名古屋種雌ニ交配シタル白色レグホーンナヤヤ一代雜種雌六羽  
 本雜種鶏ノ形狀羽毛並ニ性質等次ノ如シ

嘴 淡竹石色  
 顔面 鮮紅色  
 脛及趾 淡竹石色  
 羽毛色 白色ニシテ薄灰色ヲ帯ヒ偶々黒点アルアリ  
 眼 赤栗色  
 冠及肉髯 鮮赤色  
 耳朵 白色  
 性 稍々温和

本鶏ハ大正十年一月三十日ノ孵化ニシテ其初産卵月日及孵化后産卵迄ノ日數左ノ如シ  
 初産卵月日 大正十年六月七日  
 孵化ヨリ初産ニ至ル日數 百二十八日目

自大正十年六月七日 二百九十八日間ニ於ケル白色レグホーンノ一代雜種産卵表  
 至全十一年三月三十一日

月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
六月																								
七月																								
八月																								
九月																								
十月																								
十一月																								
十二月																								
一																								
二																								
三																								
月																								

計	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二
	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

産卵個數合計八百八拾四個

前表一代雜種試驗鶏へ大正十年六月七日ヨリ大正十一年三月三十一日迄日數二百九拾八日間ニ於ケル鶏六羽ノ産卵數コレテ一羽平均百四拾七個強ナリ

種	白色レグホーンナコヤ一代雜種	初産月日	大正十年六月七日	孵化ヨリ初産ニ至レ日數	百二十八日
種	黑色ケグホーン九斤一代雜種	初産月日	大正九年一月二十日	孵化ヨリ初産ニ至レ日數	百七十七日
種	黑色ミノルカ九斤一代雜種	初産月日	全四年一月五日	孵化ヨリ初産ニ至レ日數	二百十五日

試験鶏産卵重量調

種	白色レグホーンナコヤ一代雜種	初産重量	110g	全上	110g
種	黑色レグホーン九斤一代雜種	初産重量	115g	全上	115g
種	黑色ミノルカ九斤一代雜種	初産重量	117g	全上	117g
種	白色レグホーン種	初産重量	115g	全上	115g



屠	シ	ハ	バ	パ	層	シヨル		ハ	
						左	右	左	右
二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇	二五三〇
二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇	二四九〇
二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇
二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇	二九一〇
二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇	二八五〇

加工成績表 (其一)

號名	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量	生休量
一號	三二五五〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇
二號	二五五〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇
三號	二四五〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇
四號	二四五〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇

備考、一號右ハム仕上量二、四八〇中ノ骨量八〇、三四〇コシテ一三、七%ニ當ル一號左シヨルダ仕上量二、二〇〇骨量〇、一七七、コシテ八、三%ニ當ル一號右シヨルダ仕上量二、一四〇内骨量〇、二〇〇コシテ九、三%ニ當ル四號右ハム仕上量一、九〇〇内骨量〇、一九〇コシテ一〇%ニ當ル

加工成績表 (其二)

號名	内臓脂肪皮下脂肪	計	一仕上量	生休量	仕上量	生休量	仕上量	生休量	仕上量
一	〇四三〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇
二	〇三九〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇
三	〇四一〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇
四	〇四三〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇	二五五〇

大正十一年八月十七日印刷  
大正十一年八月二十日發行

# 島根縣種畜場

松江市殿町二十九番地  
印刷者 蒲生善之助

松江市殿町二十九番地  
印刷所 蒲生活版所  
電話二百四番

142A

終

